

報 道 機 関 発 表 資 料

提 出 日	平成26年6月23日
担当課名	環境部 環境政策課
担当者職氏名	課長補佐 種井 直樹
連絡電話番号	51-2402

件 名 : レジ袋削減（有料化）に関する取り組み状況について

【内 容】

ごみ減量及び省資源・省エネルギーを目的に、平成25年4月1日から市内店舗の協力を得て、レジ袋の有料化、マイバッグの持参呼びかけによるレジ袋の削減に取り組んでいます。

○豊橋市全体でのレジ袋辞退率目標値：80%

【レジ袋有料化実施店舗 28事業者57店舗（平成26年6月現在）】

1. 25年度の実績

レジ通過者数	30,255,101人	(A)
レジ袋購入者数	7,121,761人	(B)
レジ袋購入枚数	8,431,182枚	1人あたり購入枚数1.2枚(C)
レジ袋辞退者数	23,133,340人	(D=A-B)
レジ袋辞退率	76.5%	(D÷A×100)
レジ袋削減枚数	27,760,008枚	(D×C) 辞退者数からの推計値
市目標値達成者数	22/29事業者	市全体の辞退率目標値：80%

2. レジ袋削減による効果

レジ袋削減重量	278トン	レジ袋1枚を10グラムとして試算
二酸化炭素削減量	1,666トン	レジ袋1枚の製造から焼却にかかる排出量
		杉の木が1年間に吸収する二酸化炭素量(14kg)：118,971本分に相当
原油削減量	508キロリットル	レジ袋1枚の原料と製造にかかる使用量
		ドラム缶(200リットル)：2,540本分に相当

※出典：ごみゼロ社会推進あいち県民会議資料

3. 協力事業者・店舗による環境保全活動・社会貢献活動

レジ袋の有料化を行う事業者は、レジ袋の販売に伴う収益金が出た場合は、環境保全活動や社会貢献活動に取り組んでいただくことになっています。

○豊橋市環境活動振興基金への寄付

- ・株式会社ヤマナカ
- ・ユニー株式会社

○事業者独自の寄付・募金

- ・一期家一笑
- ・株式会社トムキャット

その他、店頭での容器包装の回収等、環境保全活動に取り組んでいただいています。

4. 市民の皆さまへのお願い

レジ袋の有料化以降、スーパー等での買い物の際にダンボールを利用し、ダンボールをごみ袋代わりに使用したり、そのままごみとして捨てたりするケースが多く見られます。

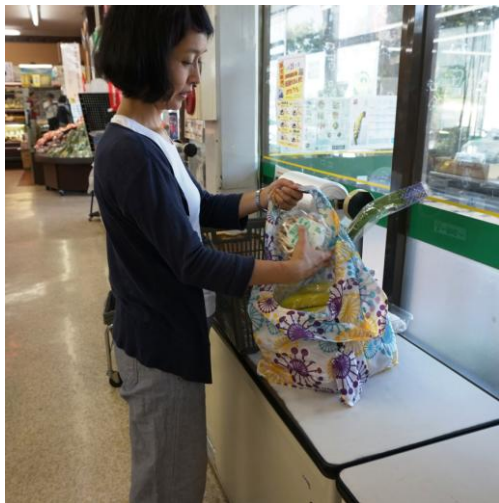
- ごみは透明または半透明の袋で、午前8時30分までにお願いします。
- ダンボールはリサイクルできる貴重な資源です。ごみとして捨てずに、地域資源回収やリサイクルステーションでの古紙回収を利用してください。



ごみ袋代わりの利用や、ごみとして捨てられているダンボール

○マイバッグ・エコバッグの利用など、ごみ減量にご協力ください。

530 運動環境協議会では、平成 26 年 1 月の「No!包装キャンペーン」にて、「マイバッグイラストコンクール」を開催し、余分なレジ袋や過剰包装の削減を始めとしたごみ減量の啓発を行っています。



マイバッグイラストコンクール優秀賞のイラストをプリントしたエコバッグ